

## 令和5年度香川県公立高等学校 入学者選抜要綱

令和5年度の香川県公立高等学校（以下「高等学校」という。）の入学者の選抜方針について、次のように定める。

### I 日程

#### 1 自己推薦選抜（全日制）

##### (1) 願書受付期間

令和5年1月24日（火） 9：00～16：00

令和5年1月25日（水） 9：00～16：00

##### (2) 検査、面接等

令和5年2月 1日（水）

##### (3) 合格者発表

令和5年2月 8日（水） 9：30（各高等学校における掲示）

※各高等学校のホームページにおいても、同日10：00に掲載する。

#### 2 一般選抜（全日制及び定時制）

##### (1) 願書受付期間

令和5年2月14日（火） 9：00～16：00

令和5年2月15日（水） 9：00～16：00

##### (2) 志願変更受付期間

令和5年2月20日（月） 9：00～16：00

令和5年2月21日（火） 9：00～16：00

令和5年2月22日（水） 9：00～12：00

##### (3) 学力検査

令和5年3月 7日（火）

##### (4) 適性検査、面接

令和5年3月 8日（水）

##### (5) 追検査

ア 追学力検査、追面接

令和5年3月11日（土）

イ 追適性検査

令和5年3月12日（日）

##### (6) 合格者発表

令和5年3月16日（木） 9：30（各高等学校における掲示）

※各高等学校のホームページにおいても、同日10：00に掲載する。

#### 3 別日程募集・第2次募集（定時制）

##### (1) 願書受付期間

令和5年3月22日（水） 9：00～16：00

令和5年3月23日（木） 9：00～16：00

##### (2) 基礎学力検査、面接

令和5年3月27日（月）

##### (3) 合格者発表

令和5年3月29日（水） 9：30（各高等学校における掲示）

※各高等学校のホームページにおいても、同日10：00に掲載する。

#### 4 通信制

##### (1) 願書受付期間

令和5年3月 1日（水）～10日（金）のうち、実施細目で定める日  
9：00～16：00

令和5年3月11日（土） 9：00～13：00

令和5年3月13日（月）～16日（木）のうち、実施細目で定める日  
9：00～16：00

令和5年3月17日（金） 9：00～13：00

##### (2) 作文、面接

令和5年3月12日（日）又は令和5年3月18日（土）の指定されたいずれかの日

##### (3) 選抜の結果の通知

令和5年3月23日（木）発送（入学志願者個々に郵送により通知）

※各高等学校のホームページにおいても、同日10：00に掲載する。

#### II 県内からの入学志願者を対象とした入学定員

高等学校の第1学年に入学を許可される者の数（入学定員）の決定に当たっては、高等学校ごとの収容力、前年度における高等学校ごと及び地区ごとの入学競争率、高等学校全体の入学定員の中で課程別及び大学科別の入学定員の占める割合、関連する小学科間の関係並びに地域の事情等を考慮するとともに、適切な高等学校全体の入学率を確保できるように努める。

#### III 全国からの生徒募集における合格者数の上限

全国からの生徒募集における県外からの入学志願者の合格者数の上限は、当該高等学校の収容力等の実情を考慮し、県内からの入学志願者を対象とした入学定員とは別に設定する。

なお、保護者の転勤等に伴う一家転住などによる県外からの入学志願者については、県内からの入学志願者を対象とした入学定員内で入学者を選抜する。

#### IV 一般選抜

##### 1 志願方法

(1) 入学志願者の出願できる高等学校は1校とする。この場合において、全日制及び定時制の課程を通して2以上の小学科（関連する複数の大学科又は小学科をまとめて「くくり募集」する場合は、それらを一つの小学科とみなす。）があるときは、一の学科を第1志望とし、他の学科（課程を異にする同学科を含む。）を第2志望とすることができる。

なお、小豆島中央高等学校の全日制課程においては、特進コース及び普通コースをそれぞれ一つの小学科とみなして、第1志望及び第2志望の扱いができるものとする。

(2) 入学志願者は、入学願書受付締切後、一定の期間中1回に限り、志願する高等学校、課程又は学科を変更することができる。小豆島中央高等学校の全日制課程のコースについても、同様とする。

##### 2 調査書等

(1) 調査書の記載事項は、教育長が実施細目で定める。

(2) 第3学年の必修教科の評定及び全学年を通しての特別活動の評価は、第3学年の生徒全員について行い、これをもとに学習成績等分布表を作成するものとする。

### 3 学力検査等

- (1) 一般選抜のための学力検査（以下「学力検査」という。）は、同一の時期に、同一の問題により実施する。
- (2) 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）の5教科について行う。
- (3) 学力検査問題の内容については、第1学年の学習内容は中学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第28号）及び平成30年4月1日から平成33年3月31日までの間における中学校学習指導要領の特例（平成29年文部科学省告示第94号）、第2学年及び第3学年の学習内容は中学校学習指導要領（平成29年文部科学省告示第64号）によるものとする。ただし、第1学年における学習が、中学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第28号）又は中学校学習指導要領（平成29年文部科学省告示第64号）のいずれの規定によるものであっても、影響のないよう配慮する。出題に当たっては基礎的、基本的な事項を重視するとともに、思考力、判断力、表現力等についても検査することができるように努め、受検者の学力を適切に評価できるよう配慮する。
- (4) 上記(2)の5教科の検査のほか、実施細目に定める音楽科、美術科等の学科においては、適性検査を課する。
- (5) 学力検査及び適性検査は、それぞれ1日で実施する。

### 4 面接

入学志願者全員に対して面接を実施する。面接の実施方法等については、教育長が実施細目で定める。

### 5 追検査

やむを得ない理由で学力検査、適性検査及び面接を受検できなかった入学志願者に対し、追検査を実施する。追検査は、追学力検査、追適性検査及び追面接とし、追学力検査をもって学力検査に、追適性検査をもって適性検査に、追面接をもって面接に代える。追検査の実施方法等については、教育長が実施細目で定める。

### 6 選抜方法

入学者の選抜は、中学校長から提出される調査書その他必要な書類、学力検査の成績、適性検査の成績及び面接の結果を資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判断して行う。

- (1) 調査書の学習の記録と学力検査の成績は、同等に扱う。
- (2) 調査書の学習の記録の評価は、学力検査を行う5教科と学力検査を行わない4教科（音楽、美術、保健体育及び技術・家庭）との均衡及び中学校における生徒の発達の過程を考慮して行うものとする。
- (3) 調査書の学習の記録以外の記載事項、適性検査の成績、面接及びその他の資料については、これを十分尊重する。

## V 自己推薦選抜

自己推薦選抜の募集人員並びに入学者の選抜等については、教育長が実施細目で定める。

## VI 定時制の課程の別日程募集、第2次募集及び秋季募集

別日程募集は、入学定員の一部を留保して行い、第2次募集は、一般選抜において合格者の数が入学定員の数に満たないときに行う。

秋季募集は、三木高等学校及び丸亀高等学校において行う。

別日程募集、第2次募集及び秋季募集については、教育長が実施細目で定める。

Ⅶ 通信制の課程の募集

通信制の課程の募集については、教育長が実施細目で定める。

Ⅷ その他

- 1 この要綱に定めるもののほか、入学者選抜に関する必要な事項は、教育長が実施細目で定める。
  
- 2 専攻科の入学者選抜について必要な事項は、教育長が令和5年度香川県立高等学校専攻科入学者選抜実施細目で定める。

## 令和5年度香川県公立高等学校入学者選抜の見直しについて

### 自己推薦選抜の見直し

令和5年度の香川県公立高等学校の全日制の課程の自己推薦選抜においては、以下の4点の見直しを行った。

#### 1 自己推薦選抜実施校

これまでの実施校※に加え、高松西高校、坂出高校(普通科)において、新たに自己推薦入試を実施する。

※ 三本松高校、石田高校、志度高校、津田高校、三木高校、高松工芸高校、高松商業高校、高松東高校、高松南高校、高松北高校、香川中央高校、農業経営高校、坂出商業高校、坂出高校(音楽科)、坂出工業高校、飯山高校、丸亀城西高校、善通寺第一高校(デザイン科)、琴平高校、多度津高校、笠田高校、高瀬高校、観音寺第一高校、観音寺総合高校、高松第一高校(音楽科)以上の25校

#### 2 自己PR書の見直しと思考力や表現力をみる面接の実施

出願時に提出する「自己PR書」の見直しを行い、高校の求める生徒像をふまえて、生徒自らが、得意分野や長所、進学目的等を積極的にアピールすることができるようにする。「自己PR書」等の内容に即した面接を行うことで、生徒の思考力や表現力をみる。

#### 3 募集割合の拡充(弾力化)

現在、普通科20%以内、専門学科・総合学科30%以内、デザイン科・美術科・音楽科50%以内を上限としている自己推薦入試の入学定員に対する募集割合を拡充し、普通科30%以内、専門学科・総合学科50%以内とする。

#### 4 学区の弾力的な運用

学区によって出願に制約のある普通科と理数科のうち自己推薦入試の実施校12校※における自己推薦選抜において、入学定員の5%を上限とした他学区枠を設定する。なお、入学定員の内数とする。

※ 三本松高校(普通科・理数科)、津田高校、高松東高校、高松南高校(普通科)、高松西高校、高松北高校、香川中央高校、坂出高校(普通科)、丸亀城西高校、琴平高校、高瀬高校、観音寺第一高校(普通科・理数科) 以上の12校